

道

枚方市立楠葉西中学校
第3学年 学年通信
2021年 4月12日
No. 4

第1回 学年集会

金曜日は3年生になって初めての学年集会がありましたね。この集会で先生たちみんなが驚かされたことがあります。それが、学年集会の最初の整列。

実は、朝読後に先生たちの職員写真を撮影があったため、一部の旧クラ代に「旧クラスで整列させといて～！」とだけ伝えていました。何も知らずに体育館へ集まるみんな。撮影が少し遅れてしまい、5分ほど遅れて体育館へ移動する先生たち。。

2年生のときなら、体育館に入った瞬間に追いかけてこを始める人や、いつまで経っても仲良しの友だちとかたまっておしゃべりをしている人たちをよく見かけたので、正直に言うと、体育館は一体どんな状態になっているのだろうか先生たちは少し不安になっていました。

ところが、ごくごく一部を除いて、旧クラ代を先頭にみんなピシッと旧クラスに整列し、座って待っているじゃありませんか。体育館の入り口から見るみんなの後ろ姿は圧巻でした。いや、本当にすごかった。あの景色を写真におさめておきたかったくらいです(笑)。3年生に新しく来てくださった先生方も、ここまで自分たちでできるみんなにとっても驚いておられました。

みんな自身にとっては当たり前のことかもしれませんが、当たり前のことをきちんとやり続けることほど難しいものはありません。集団においては、“特に”です。誰かが「自分だけがきちんとやったって…」と思えば(行動すれば)、周りにいる人たちが「あの子もやってるし…」と、どんどん広がってしまい、どれだけクラ代が呼びかけても、たちまち成り立たなくなってしまうからです。

逆に、「クラ代が呼びかけている。じゃあそれに応えよう！」と一人が行動に移せば、それが仲のよい友だちに広がり、そのまた友だちに広がり、気づけば全体へと広がっていく…。

あなた一人の行動が、良い方向にも、悪い方向にも、全体を変えることにつながるのです。生徒支援通信にもありましたが、「つながり」がそれだけ大事なんですね。



今回の学年集会では、新3年生がもつその力を存分に見せてもらったと思います。とはいえ、まだまだ3年生は始まったばかり。ここからきっと、さらなる進化を遂げてくれることでしょう。1年後、卒業式でみんながどこまで集団としての成長を見せてくれるのか、本当に楽しみにさせてもらえるスタートでした。ありがとう。(きっと一生懸命呼びかけてくれたであろう旧クラ代のみんなもありがとう。)

学級信号

深澤 義旻

「考える」とは、
新しい発見をすることだ。
自分の頭を使い、
自分の言葉でものを言うことだ。
自分の目で確かめた事実の中から、
真実を引き出してやることだ。
それをくらしとつなげてみることだ。
そして、自分を含めた人間に
できることだけを信じることだ。
一人一人がそうした考えを出し合い、
それを土台にして、
新しい考えをみんなで組み立てていき、
みんなのものにしていく。
みんなで決めて、
みんなで行動する力は、
ここから生まれ、
ここから育つ。
そのとき、きのうとちがう人間になる。



↳ 何度も言っていますが、クラスも、学年も、みんなで作っていくもの。

おまけ (あまり学年通信で書くような内容ではありませんが…)

みんなが1年生のときに社会の授業を2クラス担当してくださった奥野先生が、今年度は全クラス1時間ずつ担当して下さいます。さっそく金曜日に授業があったのですが、みんなの成長ぶりに感心しておられました。

まず授業を受ける姿勢が格段に良くなっていること。次に、知識量がぐんと増えていること(質問に対していろんな人がパッと答えてくれたそうです)。そして、圧倒的に書く力がついてきていること(振り返りを書くときにさらさらと書き始めていた人がたくさんいたそうです)。この2年間みんなと一緒に授業をしてきた石田にとってはなかなか気づかないことで、みんなどんどん成長しているんだなぁと嬉しくなりました。